

かみね 議会だより

176号

●平成27年 第4回定例会(12月)

- P2~6 こんなことが決まりました
- P7~15 そこが聞きたい(一般質問)
- P16~18 上峰中学校子ども議会
- P19~20 議会活動(視察研修報告)



上峰町消防団 出初式

平成28年1月17日、上峰小学校グラウンドにて開催されました。
各部対抗の放水競争のようす。

平成27年12月
定例会で

こんな
ことが

決まりました

土地売買契約の
締結など

14議案を可決！

平成27年第4回定例会は、12月11日から12月18日の8日間の会期で、また、臨時議会を10月27日に開催し、補正予算、人事案件、税条例の改正などを慎重に審議し原案通り可決・同意しました。

上峰町税条例の 一部改正

賛成
全員

地方税法の一部改正に伴い、上峰町税条例の一部が次のように改正されました。

主な改正内容

- 「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(マイナンバー法)の施行に併せ、税条例の規定に基づく各種申請等に際し、個人番号や法人番号を付記するよう規定を整備。(平成28年1月1日から適用)

- 町税に関する減免申請書の提出期限を一律7日間延長。

現行「納期限前7日までに提出」



改正後「納期限までに提出」
(平成28年度課税分から適用)

- 町たばこ税について、一部品目に適用中の特例税率を廃止するもの。対象は旧3級品と称される「エコー」、「わかば」などの6銘柄。激変緩和措置として、平成28年4月から4年をかけて段階的に税率を引き上げ、平成31年4月に税率を一本化する。

土地公有化事業に伴う土地売買契約の締結

賛成
全員

天然記念物『八藤丘陵やとうきゅうりゅうの阿蘇4火砕流堆積物及び埋没林』の文化財保存地区の土地を平成27・28年度で公有化する事業です。平成27年度は、面積5280㎡、単価6300円/㎡、契約金額3326万4千円。



八藤丘陵 (堤地区)

教育委員会委員の選任

氏名 原楨 裕子

生年月日 昭和37年1月7日

地区 中村

任期 平成27年10月27日から
平成31年3月31日まで



全員
同意

固定資産評価審査委員会委員の選任

氏名 石川 富美夫

生年月日 昭和24年10月6日

地区 井手口（中の尾団地）

任期 平成27年12月21日から
平成30年12月20日まで



全員
同意

特定個人情報の提供に関する条例の新設と改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

番号法の施行に伴い、町で行う次の事務の処理に関して、個人情報を効率的に検索し、及び管理するために必要な限度で個人番号を利用することができる。

- ひとり親家庭等医療費助成
- 子どもの医療費の助成
- 私立幼稚園就園奨励費補助金交付
- 重度心身障害者の医療費の助成
- 重度障害者等日常生活用具給付事業に係る日常生活用具の給付
- 社会福祉法人等介護保険利用者負担軽減制度に係る補助金
- 学校保健安全法による医療に要する費用についての援助

国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の減免申請書に、新たに個人番号の欄を追加する。

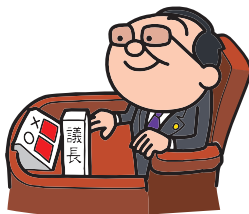
全員
賛成

議会を傍聴してみませんか

毎回、町民の皆さまに議会を傍聴していただき、ありがとうございます。

次回の定例会の会期は、3月4日（金）から18日（金）までを予定しています。

一般質問は14日（月）および15日（火）です。
詳しい日程は町ホームページでご確認ください。



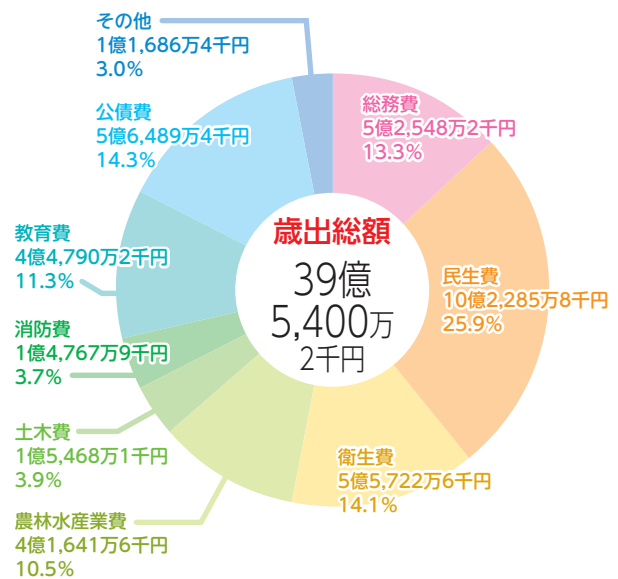
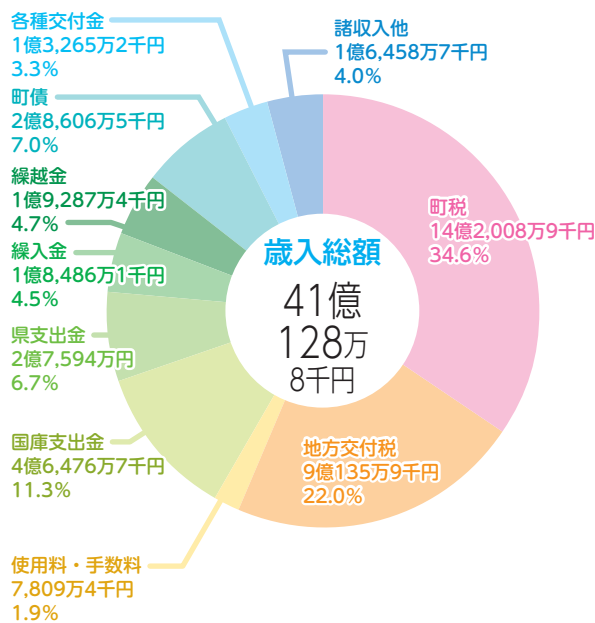
平成26年度 一般会計・特別会計 決算を認定

決算特別委員会委員長 原田 希

平成27年9月9日の本会議において、本委員会に付託された平成26年度上峰町一般会計歳入歳出決算及び各種特別会計歳入歳出決算について、10月26日、28日及び29日の3日間にわたり厳正なる審査を行い、監査委員の意見及び執行部の内容説明を聞き、慎重な審査の結果、適正であることを認め全員賛成をもって認定すべきものと決定しました。

決
算

一般会計 歳入総額41億128万8千円：歳出総額39億5,400万2千円：差引額1億4,728万6千円



特別会計

特別会計名称	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険	10億3,422万4千円	9億5,030万4千円	8,392万円
後期高齢者医療	9,563万4千円	9,499万3千円	64万1千円
土地取得	161万6千円	0千円	161万6千円
農業集落排水	8億6,745万5千円	8億5,784万2千円	961万3千円

主な財政指標

	指標の説明	H26年度	H25年度
財政力指数	町の財政力を表す指数。1に近い団体ほど自主財源の割合が高く、財政に余裕があるとされる。	0.60	0.58
経常収支比率	町の財政の弾力性を表す指標。数値が低い団体ほど自由に使える財源が多いとされる。	97.5%	90.5%
実質公債費比率	町の借金返済額が標準財政規模に占める割合を表す指標。18%を超えると起債の際に許可が必要となり、25%を超えると起債に制限がかかる。	17.3%	19.1%
将来負担比率	現時点で、町が将来負担すべき債務が標準財政規模の何倍あるかを表す指標。	37.2%	61.2%

平成27年度 **補**正予算

34億37万9千円増額して、総額75億6,899万円となる。

一般会計

本会期までの累計

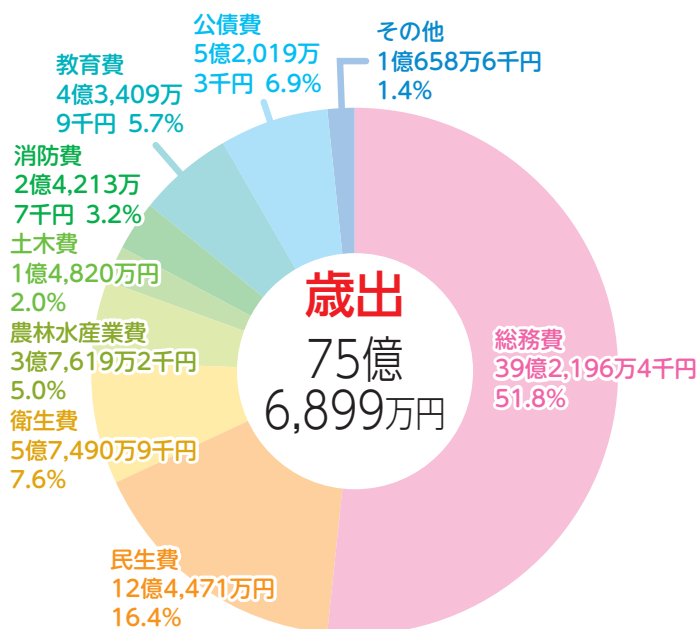
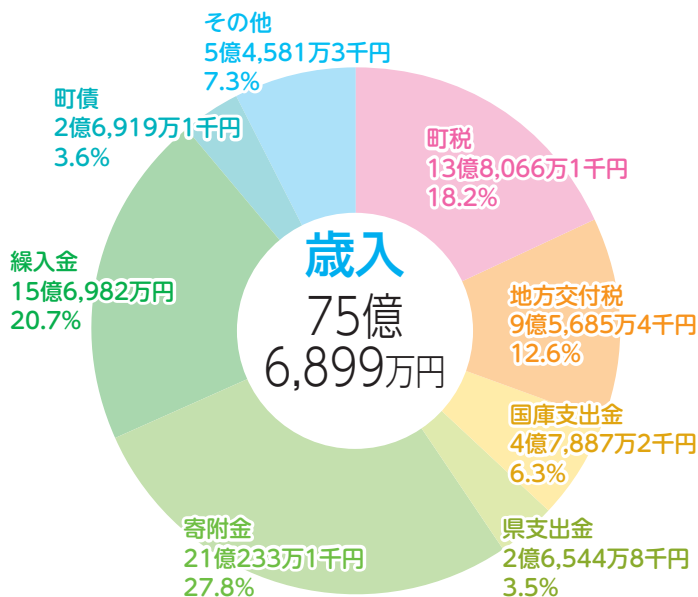
予
算

歳入補正予算の主なもの(増額のみ)

◎ふるさと納税寄附金	20億円
◎国庫支出金	
・ 保育所運営費負担金	417万5千円
・ 国民健康保険基盤安定負担金	473万8千円
・ 地方創生関連交付金	1,000万円
◎県支出金	
・ 保育所運営費負担金	208万8千円
・ 国民健康保険基盤安定負担金	367万5千円
◎財政調整基金繰入金	4,374万1千円

歳出補正予算の主なもの(増額のみ)

◎ふるさと納税謝礼等経費	13億4,123万2千円
◎タウンチャンネル開発委託費	220万円
◎パソコン購入費	240万円
◎光BOX(行政情報受信端末)購入費	880万円
◎社会福祉協議会運営費補助	501万7千円
◎国民健康保険特別会計繰出金	1,108万4千円
◎後期高齢者医療費前年度清算負担金	559万2千円
◎三神地区環境事務組合運営負担金	292万3千円
◎町道補修工事費	900万円
◎鎮西山保全工事費(駐車場)	123万2千円



※町債とは借入金、公債費とは借入金の返済金です。
※国・県支出金は補助金です。

特別会計

国民健康保険特別会計

8,767万1千円を増額し、11億5,491万3千円となる

農業集落排水特別会計

1,201万9千円を増額し、6億8,598万5千円となる

皆さんからの

請願

紹介議員 向井 正

鳥越地区水路側溝埋設工事について

鳥越地区内431
411番地と431
6番地の隣接する水
路がいまだに自然水
路であり、又、この
水路北側が急な斜面
(45度以上、法高5
m)が30m以上有り、
いつ崩れるかわから
ない状態です。しか
も南側には民家が隣
接しており大雨が降
り山崩れが起きた場
合は民家損傷、人命
損傷が発生する懸念
があります。

以上の事が予想さ
れますので災害防止
の為三面水路を設
置し、崩落防止の為



振興常任委員会
付託

請願者

- ・ 齊藤 幾恵
- ・ 松尾 勇
- ・ 桑原扶示康
- ・ 筒井 善一

法面を高さ1mほど
を杭柵、又は板柵の
設置をお願いします。

平成27年 第3回臨時会・第4回定例会 議案賛否表

議案番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			向井 正	吉田 豊	田中 静雄	寺崎 太彦	漆原 悦子	井上 正宣	吉富 隆	大川 隆城	原田 希
第3回臨時会											
58	平成27年度上峰町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	上峰町教育委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4回定例会											
50	平成26年度上峰町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	平成26年度上峰町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	平成26年度上峰町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	平成26年度上峰町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	平成26年度上峰町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	上峰町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	上峰町税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	上峰町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	平成27年度上峰町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	平成27年度上峰町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	平成27年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	平成27年度天然記念物「八藤丘陵の阿蘇4火砕流堆積物及び埋没林」文化財保存地区土地公有化事業に伴う土地売買契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	上峰町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	平成27年度上峰町一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	平成26年度決算特別委員会審査報告について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対

*議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数のときは議長が裁決権を行使します。(過半数議決の場合)

一般質問

そこが聞きたい!

問 地方創生の考えは

答 町の実情に合わせ設定していく

問 上峰町の地方創生についての基本的な考え方はどうか。

答 創生室長 国の基本目標を勘案しながら、上峰町の実情に合ったビジョンを設定していく。
 問 総合戦略について、まちづくりの具体的な施策は。

答 創生室長 まずビジョン①として「しごと」づくり、新たな産業の拠点を作る。ビジョン②として、交流拠点「道の駅」の設置やICTを活用した情報発信拠点の整備、農産物の6次化の推進を目指す。ビジョン③として農



吉富 隆 議員

業人材教育拠点の整備、小・中学校の児童生徒を対象にした外国語教育の強化を目指す。ビジョン④として地域をつなぐタウンプロモーション協会を設立し、温泉施設と道の駅などと連携した観光ルートの開発、吉野ヶ里遺跡と連携した農業体験ツアーや歴史体験ツアーの開発を目指す。

問 ふるさと納税の状況は

答 順調に進んでいる

問 ふるさと納税の現在の状況と、今後の方針はどのように

問 地方創生での農業関連技術の拠点づくりをはじめ、これからの農業振興の方針は、どのように考えているのか。

答 産業課長 農業人材教育拠点づくり、道の駅設置など県、JAや関連機関および農家の方々と連携をとりながら、体制づくりを行う。

要望 農業拠点を上峰町に作る目的を、ぜひとも町長、成功させてください。上峰町発展のため、今後の努力をお願いします。

答 考えているのか。
 創生室長 現在、多額の寄付を受け



ふるさと納税返礼品 (イメージ)

付けており、順調に進んでいる。今後も商品をリニューアルしながら取り組んでいく。今後の計画につ

いては62品目の返礼品を用意しているが、さらに商品開発を行い、リピーターを増やす努力をしていく。
 創生室では、土曜、日曜返上で、遅くまで努力されている。健康には留意され今後努力を重ねていきたい。

問 いじめ問題の対策は

答 現在のところ、いじめはない

問 現在は、暴言、暴力だけではなく、スマートフォンでのいじめがあり、その対策は。

答 教委事務局長 定期的なアンケート調査、生徒相談、巡回指導、教育相談など早期発見、指導に努めており、現在のところ、小・中学校

とも、いじめはない。
 教育長 教育委員会としては県とともに、連絡を密にし、子どもたちを見守っていき、インターネットについてもしっかり対応していく。

ほかに
 ○坊所、城島線地盤改良について

一般質問



田中 静雄 議員

問 活力ある町づくりの考えは

答 総合戦略の目標に沿って推進する

問 総合戦略策定による将来の人口予測は

答 創生室長 出生率は1・86。社会増減を想定した人口予測は、2040年には8732人、2060年は、7834人を想定している。

問 町の人口減少を抑えるため、雇用と定住対策が必要と思うが行政としての考え方は。

答 創生室長 「しごと」づくりで新たな産業の拠点づくり

金を活用して「上峰椿油」の製品開発、販売に至っている。佐賀6次産業化サポートセンターを町民に幅広く、情報の発信をしていきたいと思っている。生産物拠点づくりとして

の「道の駅」構想は、販路拡大や加工場建設による6次化支援があるので、特産品の開発や販路の確保を目指していきたいと思っている。

答 町長 お菓子の商品開発、天衝米の

問 各種団体への補助金増額の考えは

答 増額の検討をしていく

問 文化協会への補助金については財政

難で大幅にダウンした。近年は10〜15%の増額があったものの資金難を解消すべく、各事業所に広告料として協力してもらっている。大幅な財政支援ができないか。

答 教委事務局長 当所予算編成に向け



町民文化祭

て財政課と協議を進めていく。

完成、蜂蜜やラーメン、その他、多くのお話を受けており、しっかりと支援していく。



問 町道の補修計画は

答 計画的に実施していく

問 町道の傷みが激しく通行にも問題がある箇所が見受けられる。各地区から要望が出ていると思うが、事故が起きる前に精力的な補修が必要と思うが。

答 建設課長 パトロールと現地調査により、たわみ、ひずみ、ひび割れ等を中心に住民の声や利用頻度を総合的に勘

案して計画的に実施している。



町道の凸凹

問 教育委員8人体制の実績は

答 多くの取り組みへ対応可能

問 教育委員8人体制の現在までの実績と今後の考えは。

答 教委事務局長 8人体制になったことで、4つの分野において深く現場に入り、情報収集を行い、定例教育委員会の中では、10項目を超える事項をそれぞれの立場から協議されている。多くの事業に取り組み中、協議から決定へのスピード感が増した。総じて、多くの取り組みへ対応が可能となった。



原田 希 議員

問 半年前に会議録の公開をホームページ等でやっていきなさいという回答があったが、どうなっているのか。

答 教委事務局長 順次作成しているが、ホームページに載せる作業がまだできていない。

問 8人体制を支える事務局体制も充実されるべきだと思いませんか。

答 町長 職員数が少ないことは理由にならないので、直ちに掲載していくよう指導する。

に掲載していくよう指導する。

問 教育委員会の会議の話し合いは、委員から事務局体制について話さないのか。

答 教育委員 委員から話として、平成28年度に向けた改善を早急にしていただきたいというものは、定例教育委員会出ている。

問 8人体制の効果が発揮できるように、事務局体制を整えていただきたい。

答 教育委員 円滑に、迅速な対応ができる組織になるよう頑張っていきたいと思う。

問 3号線の整備の進捗は。

答 建設課長 請願事項でもあるこの路線については、7月下旬に地元役員と協議している状況。

問 現在、自衛隊の民生支援ということ、防衛省の部外土木工事というメニューを照会してもらい、三上地区全体で検討を行っているが、地域

問 7月下旬の地元役員の方々の協議の際に、副町長が当日になって来られないと言われたそうだが、誠実さを欠いた対応ではないか。

答 副町長 日程調整していたが、どうしても公務でいけない日程になり、出席できなかった。しかしながら、まずは民話をしていただくということ、地元の方々に伝え切れていなかった私の不手際かと思うので、この場をかりてお呼び上げたい。今後とも、地元の方々と協議させていただきながら進めていければと思っている。

問 7月下旬の地元役員の方々の協議の際に、副町長が当日になって来られないと言われたそうだが、誠実さを欠いた対応ではないか。

答 副町長 日程調整していたが、どうしても公務でいけない日程になり、出席できなかった。しかしながら、まずは民話をしていただくということ、地元の方々に伝え切れていなかった私の不手際かと思うので、この場をかりてお呼び上げたい。今後とも、地元の方々と協議させていただきながら進めていければと思っている。



(仮称) 西峰東西3号線

問 (仮称)西峰東西3号線の進捗は

答 推移を見ながら計画

問 (仮称)西峰東西3号線の整備の進捗は。

答 建設課長 請願事項でもあるこの路線については、7月下旬に地元役員と協議している状況。

問 現在、自衛隊の民生支援ということ、防衛省の部外土木工事というメニューを照会してもらい、三上地区全体で検討を行っているが、地域

問 7月下旬の地元役員の方々の協議の際に、副町長が当日になって来られないと言われたそうだが、誠実さを欠いた対応ではないか。

答 副町長 日程調整していたが、どうしても公務でいけない日程になり、出席できなかった。しかしながら、まずは民話をしていただくということ、地元の方々に伝え切れていなかった私の不手際かと思うので、この場をかりてお呼び上げたい。今後とも、地元の方々と協議させていただきながら進めていければと思っている。

問 7月下旬の地元役員の方々の協議の際に、副町長が当日になって来られないと言われたそうだが、誠実さを欠いた対応ではないか。

答 副町長 日程調整していたが、どうしても公務でいけない日程になり、出席できなかった。しかしながら、まずは民話をしていただくということ、地元の方々に伝え切れていなかった私の不手際かと思うので、この場をかりてお呼び上げたい。今後とも、地元の方々と協議させていただきながら進めていければと思っている。





井上 正宣 議員

問 特産品開発と
ふるさと納税は

答 地元企業の協力で
特産品開発

問 特産品開発と、ふるさと納税をどのように結びつけていくか。

答 創生室長 現在、ふるさと納税の謝礼品は、肉を中心に62品目でお届けしている状況。課としても、地元企業の協力を得ながら、特産品開発をしていく。

問 上峰町には、町を紹介したポストカードや観光資源、農産物などをまとめ

たカタログ、冊子があっても良いと思うが。

答 副町長 町の情報発信を紙媒体だけでなく、電子媒体もフル活用して取り組みを進めていく。

問 農産物を加工する6次産業化にも、ぜひ力を入れていただきたい。

答 副町長 加工施設のものも早急に検討していく。

問 国際交流の意義は

答 日本文化を総体的に見る

問 国際交流については、「ローマは1日にしてならず」と言われるように、苦難の道のりを乗り越えて、互いに努力しないと真の交流にはならないと考えているが。

答 創生室長 交流を通じて、外国を鏡とし日本文化を総体的に見ることができるようになり、日本の長所や欠点を知り、また魅力・価値を高められることが国際交流の意義と考えている。



上峰中学校と大神中等学校の交流

問 今後、ヨソジュ 驪州市や市内の大神中等学校・昌明女子中等学校との交流を、どのように進めるのか。

答 創生室長 韓国の驪州市とは、平成13年度から交流を始め、平成16年度に友好都市の締結を終えている。また、大神中等学校とも平成16年度に姉妹校の締結を終えて、隔年度で中学生の交流を現在も続けて10年目になる。

問 大神中等学校・昌明女子中等学校校もすばらしい学校だ。上峰中学校もハングル語講座を設けて、一言でも二言でも相手の国の言葉で会話ができたら、とても親密感があって交流にはずみがつくと思うが。

答 町長 議員から大変貴重な歴史と経緯の話の聞いたこと

が、私は目のさめる思いだ。日韓交流については戒厳令のしかれる中で韓国剣道会と佐賀県剣道道場連盟とのやりとりが一番のスタートだったということを知った。これらで財政事情の観点で、議会と行政の往来はどのように地域の活性化につながるか疑問を持っていたが、ICTを通じて韓国の先進的な事業を理解することができた。今、教育委員会がパソコンを使ってやりとりする計画もされている。これまでの国際交流事業と別の観点で地域に活性化を促すような形に事業としてきたら、文化協会の事業についても活性化事業として取り立てていく必要があると感じている。

問 生活困窮者の医療費救済は

答 平成28年1月1日より要綱を定める

問 国保が平成30年より都道府県単位に広域化され、県内では生活困窮者対策にばらつきがあるとされているが、上峰町の生活困窮者に対する医療費の個人負担救済は。

答 健康福祉課長 国保の一部負担金の

減免については、平成28年1月1日より減免および、徴集猶予に関する取り扱い要綱を定め、災害・農作物の不作・失業等の理由で収入が著



向井 正 議員



しく減少し、医療費の一部負担能力に欠けると認められる場合、一部負担金の減免等を行えるようにする。

答 町長 法律が施行されることに伴い、遅滞ないように担当と協議をしながら、これらの変更を理解を深めていく。

問 ふるさと納税の情報発信は

答 広報・ふるさとチョイス等に掲載

問 返礼品の充実、ふるさとチョイスに掲載以降、ふるさと納税が予想以上の反響だが、使途希望の選択状況は。

答 創生室長 現在、利用用途は4つある。今年から5年間で進めていく町の総合戦略の4本の柱に沿って、1番目に人づくり事業、2番目に町づくり事業、3番目に仕事づくり事業、4番目に上峰町のさらなる発展のための事業に活用と考

問 情報発信の影響力は大変大きいですが、活用事業の情報発信の考えは。



ふるさと納税者への年賀状

答 町長 ふるさと納税をしていただいた方々にその用途を明示することは、趣旨からいっても大切なことだと理解している。動画配信・フェイスブック・ECサイト上で発信している。

問 リピーターを増やすための対策は。

答 創生室長 年賀状等を寄附者の方々に送りたいと考えている。

問 交差点の事故防止対策は

答 一時停止の設置を検討

問 八藤丘陵付近の交差点は安全確認がしづらく、事故が多発しているが、事故防止対策は。

答 総務課長 平成27年11月25日に、2枚の注意喚起看板を設置した。

問 安全確認がしづらく出会い頭の事故がおきている。一時停止の看板標示の設置の考えは。

答 総務課長 標識標示は公安委員会の決定が必要になるが、地区とも相談し検討していく。



八藤丘陵付近の交差点



吉田 豊 議員

問 子育て支援は

答 形を変えて支給

出生祝金の創設はできないか。

答 住民課長 小学校入学祝金を平成28年4月新入児童より対応する。

答 タブレット端末購入助成は。

答 教委事務局長 卒業祝金として検討したが、県教育委員会で保護者の負担軽減策も図られているので、引き続き検討課題とする。

問 9月定例会の答弁から、かなり後退

問 あいまいな答弁で理解に苦しむ。高校生の入学となると、かなりの出費がかさむので、何らかの支援策を考慮できないか。

答 教委事務局長 タブレットに使用するソフトを加えると約20万円になる。それが5万円の保護者負担ということで、今でも十分に保護者への支援は済んでいるものと私は思う。

問 20万円必要な教材を、保護者負担が5万で済むのだから十分ではないか、といわれるが、それで済ませるつもりか。

答 教委事務局長 奨学金制度、分割払い制度が県の方でも準備されているので、そちらのほうで対応してもらえればと思う。

問 現在実施中の中学生までの医療費助

成制度を、高校生まで拡充できないか。

答 住民課長 子育て世帯を助けるという意味を含め、平成28年度より高校生までの医療費助成の拡

問 定住化支援は

答 総合戦略で対応

問 人口減少防止策は。

答 創生室長 農業関連企業の誘致、バイオマス発電企業の誘致、まちづくり交流拠点「道の駅」の設置等、雇用の創出を図り、定住へ導きたい。

問 抽象的で具体策にとぼしい。総合戦略が5カ年計画であれば、すでに1年経過している。残り4年ならば、もう少し実施設計といえるような具体策が示されるべきではないか。

答 創生室長 私としては、具体的に示しているつもりである。

問 道の駅で取り扱う品目の想定は。

答 創生室長 農産物と6次化した加工品を考えている。

問 海産物も同時に取り扱っている道の駅が繁盛している。海産物の取り扱いを。

答 創生室長 海産物も取り扱い品目として検討する。

問 将来の人口は

答

人口ビジョンに示したとおり

問 人口ビジョンによると2040年に8732人、2060年に7834人になると想定されている。人口規模を幾らに保つためには、企業誘致により何人の雇用創出を行い、これらの労働者の定住化を図る為には、地区間の人口の平準化を推進する立場から、どの地域にどれだけ宅地開発を進めていく。そういった今後の上峰を造り上げて行く施策の企画立案をするのが、創生室ではないか。

答 町長 議員のおっしゃるとおりである。

答 創生室長 議員が指摘されるとおり創生室の役割である。

問 外来生物への対策は

答 侵入の報告がない

問 人間に危害を加えるものや自然環境に影響がある外来生物が確認されているが、対策は。

答 住民課長 自然環境に大きな影響を及ぼす生物として最近セアカゴケグモ、ツマアカスズメバチなどがあり、町内での目撃報告はない。吉野ヶ里町でカミツキガメが目撃されているが、駆除されていない。

問 注意喚起する意味で、写真などで知らせてはどうか。

答 住民課長 広報紙等で、注意喚起と情報提供のお願いという意味で掲載をしていきたい。

問 庁舎南側の駐車場を有効活用するには、貸借ではなく購入すべきと思うが、その考えは。

答 財政課長 10年間の賃貸借契約を締

問 庁舎南側の駐車場の購入について

結して、まだ3年目というところで、基本的には賃貸借の契約の継続になっていく。用地の購入については、お願いしていきたい。

問 庁舎南側駐車場の購入の考えは

答 お願いしていく

問 有害鳥獣対策は

答 補助金を検討

問 有害鳥獣対策の現状は。

答 産業課長 猟友会三養基支部と委託契約し、駆除を行っている。昨年度は、鳥類10羽、イノシシ20頭捕獲した。また、今年度ワイヤーメッシュの購入を予定している。

問 鳥獣対策報奨金を上げてみてはどうか。

答 産業課長 猟友会の会員が減少しているので、報奨金を上げるより、免許を取得、またそれを維持管理する補助を考

えている。竹は木と比べ、根が浅く土砂崩れを起こしやすい。竹林の管理は。

問 鎮西山の総合的な樹木の管理はどのようにしているのか。

答 創生室長 鎮西山の樹木管理および草刈り費用は、平成14年度をピークに平成25年度は4分の1になっている。現在は必要最小限の剪定、車道及び遊歩道周りの草刈り作業のみを委託し、可能なものは担当課で実施している状況である。

問 鎮西山の総合的な樹木の管理はどのようにしているのか。

答 創生室長 鎮西山の状況を把握して、やっていけないものは検討していきたい。

問 鎮西山の総合的な樹木の管理はどのようにしているのか。

答 創生室長 来年度の樹木管理は、竹の伐採等も考えながら実施していく。

問 鎮西山の管理は

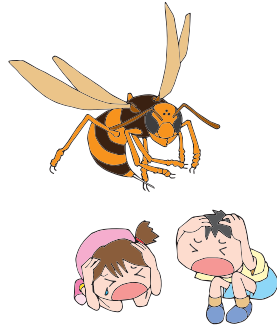
答 必要最小限でやっていく

問 鎮西山の総合的な樹木の管理はどのようにしているのか。

答 創生室長 鎮西山の樹木管理および草刈り費用は、平成14年度をピークに平成25年度は4分の1になっている。現在は必要最小限の剪定、車道及び遊歩道周りの草刈り作業のみを委託し、可能なものは担当課で実施している状況である。

問 鎮西山の総合的な樹木の管理はどのようにしているのか。

答 創生室長 鎮西山の状況を把握して、やっていけないものは検討していきたい。



寺崎 太彦 議員

一般質問

ほかに

- 地方創生の取り組みは
- 定住奨励制度の創設は





漆原 悦子 議員

ICT学習の指導に問題は

答 教育委員の兼務には当たらない

問 ICT活用の学習状況・効果は。また指導に問題はないか。

答 教委事務局長 中

40分の放課後補充学習を開始。前半20分を英語または数学、後半20分で入試対策、または授業の復習を全員参加で行っている。

講師を昨年度の5人から10人に増やし、十分な指導力を確保している。さらに、現場に1名の事務補

助員を配置し、学校現場の負担を軽減した。1月からは中学1年生を対象にした補充学習を開始する。

問 教育委員は教育委員会会の職務権限に属する事務を管理執行することはできないとあるが、法的に事務補助員は問題はないか。

答 教委事務局長 オンライン補充学習は今年で2年目、去年多くの課題を生み、迅速にクリアしながら進めている。学校

やPTAからの意見をいただいた時に、中学校担当の教育委員が現場にいと、迅速な対応ができるとの話があり、文科省に問い合わせ、法的に教育委員の兼務事例には当たらない・事務補助に入ることとは問題ないとの答えをもらった。

答 教育長 授業であれば管理になるが、民間の補充学習を補助するということで認めてある。



ICTを活用した学習

マイナンバー制度への高齢者対応は

答 住民課で相談受付中

問 12桁の通知カードが各世帯に届けられていない。住基カードが廃止され、高齢者の方々の身分証明書として写真も必要

答 住民課長 窓口に

だが、カード申請から受け取りまで困らないための対応は。

の書き方の説明、書けない方には自署すべき箇所以外は、住民記録係の職員が代筆を行い補助をしている。通知カード受け取り後のマイナンバーカード申請に関する不安等は耳にしている。電話相談・問い合わせなど受け答えを随時行っている。

通学福祉バスの今後は

答 地域公共交通網形成計画を策定中

問 平成12年4月の通学福祉バス運行開始から15年が過ぎ、老朽化による修理が増え、代車での搬送も増えている。現状と今後の考えは。

答 健康福祉課長 平成26年度の利用者は3万6967人。車検・点検も含め修

理費は町負担で、平成26年度は、248万8千円。

今年度、地域公共交通活性化協議会を立ちあげ、今年度末までに、地域の実態に則した交通体系構築を目的とした、地域公共交通網形成計画を策定するように

している。今後はこの計画を基本とした運行となり、内容によってはバスの買いかえも検討していく。

ほかに
○いじめ・虐待予防対策
○道路整備
○ひきこもり対策

問 切通交差点改良、町長自ら地権者へ

答 町長が事業の必要性を伝えたい

問 朝夕、切通交差点を中心に南北1kmの渋滞で、地区の方が早くその解消を望まれる改良事業。その後の動きはどうか。

答 建設課長 引き続き佐賀国道事務所、国土交通省への早期実現のため要望活動は継続中。そのおり国道事務所長が関係地権者との意見交換会を約束。

問 区長、役員の方々のご尽力に敬意を表し感謝申し上げますとともに、町のトップである町長が足を

運び、関係者に理解を求めることが必要ではないのか。

答 町長 過去の経緯をお話することが事業進捗の妨げになってはと考えていたが、担当課と協議し地権者とお会いし事業の必要性をお伝えしたい。



改良が待たれる切通交差点

問 大キャンバスに思い出のペイントを

答 ぜひ取り組みたい

問 目達原駐屯地の周辺に塀を設置してあるが、町内区域にある塀を大きなキャンバスに見立てて、小・中学生の体験学習の一環として思い出に残る、そしてふるさとへの愛着へとつながる大きな絵を描かせてみたらどうか。

答 教委事務局長 郷土愛の醸成は重要な取り組みであり、心に残り、形としても残るものとして駐屯地周辺の大きな塀へのペイントはぜひ取り組みたい案件。小・中学校の体験学習や生涯学習の場などで提案していき

望 駐屯地に相談したら、描く絵の内容

の協議、作業中の交通安全面の確保の手配等はこちらです。必要はあるが、塀に絵を描くことは問題ないとの回答を得ている。今後関係機関との協議、調整を経てぜひ前向きに取り組んでもらいたい。



目達原駐屯地の塀

問 椿・サルビアの植栽増やせ

答 各公民館等へ植栽を依頼

問 町木椿、町花サルビアの全体的認知度が低いと感じるので、庁舎等公共施設や公民館に植栽しPRすべきと思うが。

答 産業課長 関係各課と協議し、緑の基金助成事業で植樹を区長会でお願

問 町に椿が増え商工会と協力して純上峰産の付加価値ある椿油を製造すれば、特産品としてふるさと納税返礼品にも利

用できるのではないかと。

答 産業課長 議員のいう通りだと思う。上峰産としての付加価値を上げ特産品としていきたい。



上峰椿油

キャンプ場跡地整理はいつなる

問 鎮西山キャンプ場の今後の活用は。

答 教委事務局長 九州経済産業局電力事業課に確認し、平

成28年4月以降に処分可能。全てを撤去した時の費用は概算で400万円を見込んでいます。



大川 隆城 議員



上峰中学校 子ども議会



平成27年11月6日、上峰町議会場において、中学校3年生による「子ども議会」が開催されました。総合学習の授業の一環として、事前にみんなで調査し、討論したことを、生徒代表として、執行部に対し、提案、質問しました。

大人には気付かない中学生の目線で鋭い質問内容でした。

中学生の皆さんには貴重な体験となり、子ども議会を終えてのそれぞれ感想を書いていただきました。



森 光輝さん、武本桃華さん

議長 森 光輝
僕は、議長を務めました。始まる前は緊張していたけれど、始めるとそうでもなかったです。隣に二宮局長がいてくださったので心強かったです。本当にいい経験になったと思います。

「議長」というのは、全員が自分を見ているのでちょっとやりづらさを感じました。イスはふかふかで気持ちよかったです。本場の議長さんは、ずっとこの緊張感を感じていらっしやるのだからなど思いました。リハーサルでしっかりと練習していたの

で本番はきちんと行うことができてよかったです。議会の中では、普段使うことのない言葉や男子と女子も「〇くん」と呼ぶことなど、今まで知らなかったことがたくさんありました。自分は前半だったので後半の武本君に変わったときは、ほっとしました。

最後に、子ども議会を通してとても貴重な体験をさせて頂いたことを感謝します。議員のみなさん、執行部のみなさんにお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

議長 武本 桃華
私は、議長をするのは、学校生活を通して考えてみても初めての経験でした。それなのに、子ども議会という大きな場で議長を務めることは、とても緊張しました。

議長は進行をする役なので、きちんと進められるのか、とても不安でした。私は、後半から議長を務めました。

子ども議会

前半の森君がとてもスムーズに進行していたので、私もとてもやりやすく流れにのることができました。

一般質問の中で、町の執行部のみなさんが答弁して下さい、これからの上峰町の事や、知らなかったことなど、たくさん知ることができました。

初めての議長としての経験は、とても貴重なものとなりました。本当にありがとうございました。



古川歩美さん、森田小百合さん

いチャンスでした。少し心配な面もありましたが、やるしかないという意気込みで臨みました。

テーマはいろいろ迷ったけれど、燃えないゴミの日の頻度や時間について調べました。上峰町について調べるうちに、「ほんとに住みやすい町なんだなあ。」と感じました。だからこの子ども議会で、「もっと住みやすい上峰町にしたい。」という気持ちが高まりました。

いよいよ本番がきました。一番目で、とても緊張していましたが、落ちついて質問することができました。再質問はすることが出来なかつたけれど、町民を代表して意見を述べることができ、貴重な経験となりました。

上峰町の議会も、きつと真剣に町のことを考える場となっているのだろうと思います。本当に、ありがとうございました。

上峰町の燃えない ゴミの日の調べ

古川 歩美 議員
「子ども議会」に参加できるというのは、滅多に体験できない、い



古川皓介さん、福島聖人さん

上峰町のマスコットキャラクターについて

古川 皓介 議員

「議会」というのは、
どういう場で、どうい
うふうに決められてい
くのか、以前から興味
がありました。

今回を提案するか、
上峰町のために何がで
きるかを考えたときに
マスコットキャラクタ
ーを作ろうという案
が浮かびました。上峰
町ひいては佐賀県の知
名度を上げられたらいい
と思います。自分の
番が近づくとつれて
頑張ろうという気持ち
と緊張感の両方で汗が
出てきて、大変でした。
原稿を読み終えた時の
達成感がすごかったで

す。再質問の時どうす
るか迷ったけど、「ここ
でしなかったらいつや
るの今でしょ」と勇気
を出してがんばりまし
た。
この議会を通して自
分自身の成長を感じま
した。この経験を生か
して、次のことに挑戦
していきたいと思いま
す。



香月優都さん、西 舞人さん

上峰町の歩道整備について

香月 優都 議員

ぼくは、子ども議会
というとても素晴らしい
体験をさせてもらっ
たことを光栄に思っ
ています。部活動の試合
とは違う緊張感が今で
も忘れられません。

僕は将来、自衛隊員
という「発言力」が必
要な仕事に就きたいと
考えています。大人の
人でも滅多に入れない
所で15歳で大勢の人の
前で発言できたことは、
自分の中でものすごい
経験値になりました。

子ども議会では、先
輩方の意見が採用され
ていて、実際にその施
策が行われているとい
うことで、身近に感じ
ていました。しかし、
今度は僕の意見が採用
されて、町民のみなさ
んの役に立てると思っ
たと、とてもうれし
かったです。

僕の意見だけでなく、
ほかの人の意見もすば
らしく、町の活性化の
ため意見がたくさん出
て上峰町が活気付くと
いいなと思います。
関係していただいた
全ての方々に感謝しま
す。



野村千幸さん、弓削美月さん

上峰町の活性化について

野村 千幸 議員

私は、上峰町に住ん
でまだ一年と少ししか
たっていません。しか
し、この「子ども議会
を通して、上峰町につ
いてより深く知ること
ができました。

議会に参加するにあ
たって、まずは何を質
問するかを決めるこ
とから始めました。道
路・環境整備、教育など、
様々な案が出ましたが、
私たちは上峰町の活性
化について質問するこ
とにしました。資料に
するためにアンケート
を実施しました。その
結果からは、みなさん
の上峰町に対する熱い

思いが伝わってきまし
た。私たちは、その思
いを生かすために一生
懸命に、そして楽しく
準備しました。
議会当日、私は議員と
して参加しました。日
常で感じることもない
空気があり、とても緊張
しましたが、私たちが考
えてきた質問を、町執行
部の方に伝えることが
でき、達成感を味わうこ
とができました。



牛島実祝さん、井上 桜さん

防災について

牛島 実祝 議員

私は、子ども議会で
議員を務めさせてもら

いました。最初は、テー
マにそって何から始め
たらよいか分からな
かったのですが、インタ
ーネットなどで防災につ
いてたくさん調べ、ア
ンケートも取って防災
の資料集めをしました。
子ども議会での発表が
私に決まったときは本
当に私で大丈夫なのだ
ろうかと思いました。
私は議員などしたこと
がなかったので発表す
るときはとても緊張し
ました。学校でも、家
でも何回も原稿の読み
方の練習をしました。

一番難しかったことは
スライドに合わせて話
すことです。勝手に読
んでいるだけでは皆に
きちゃんと聞いてもら
うことはできません。自
分だけどんどん先に進
まないように気をつけ
ました。

私はこの体験を通し
て、多くの人に自分の
考えをよく聞いてもら
うにはどうしたらよい
のかを考えさせられま
した。そして、そのた
めには相手に聞いてほ
しい。理解してほしい

と思う気持ちが大切だ
と思えました。



松尾星希さん、松永隆三さん

小・中学校の環境
整備について

松永 隆三 議員

僕は、子ども議会で小中学校の環境整備について提案しました。このことを提案するにあたって、どのようにしたら生徒が快適に過ごせるかということについて考えました。また議会を体験させて頂いたことで、一つのことを決めるだけでもいろいろなことが話し合われていてすごいなあと驚きました。また、どれだけ小さなことでも一生懸命話し合いが行われているんだと思う

と少しうれしくなりました。それだけ上峰町は大切にされているんだと感じました。

今、政治について勉強しているけど、自分達にも関係することだなと改めて思いました。選挙権も18歳からとなり、もうすぐ僕たちも本当に投票をすることになります。これからは、政治に関心をもっていかなければならないなと思えました。その第一歩として、子ども議会が貴重な体験で有意義な時間でした。



渡部晃史さん、島 琉斗さん

遊休農地の有効活用について

島 琉斗 議員

僕は、今回の「子ども

も議会」を通して、このような経験をさせて頂いてよかったと思っただけがいくつかりました。

一つは、議会がどのような行われ、どうやって決議していくのかという議会の流れを知ることができたことです。しかも、傍聴席からではなく、議員の立場から知ることができたというのは本当に貴重な体験ができたと思います。二つ目は上峰町の現状を知ることができ、それに対してどのような対策を行っているかということを知ることができたということだと思います。

また、地域の方々が、上峰町をどう思っているのかこれからどうしていきたいのかということにも目を向けることができました。

今回の子ども議会も本当に貴重な経験になったと思います。議員として発言した、この子ども議会の経験を今後の生活だけでなく、様々なことに役立てて

いかなければならない
と思えました。



宮崎 華さん、阿部由実さん

上峰中の国際交流
について

宮崎 華 議員

私は、今回の子ども議会でも普段では体験できないようなことをさせていただきました。

5歳のときから上峰町に住んでいる私ですが、これを機に上峰町についてあらためて考えることができました。

私は上峰町の国際交流について議会に提案しました。イングリッシュガーデンのことや、日韓交流や他の国との交流についてです。その中でもビデオ通話による国際交流について

は、答弁の際に、前向きな考えを示していただきました。執行部の方も本当に真剣に考えてくださり、上峰町の状況などを分かりやすく教えてくださりました。

このような貴重な体

験をこれからの生活の中に取り入れられるようにもっと上峰町のことについて考えていこうと思えました。私たちが大人になった時に上峰町がさらに発展しているといいと思いま



常任委員会視察研修報告

振興常任委員会

視察研修報告

平成27年11月24日から26日までの3日間、新潟県中魚沼郡津南町と長野県上高井郡小布施町へ振興常任委員会視察研修へ行ってきました。

津南町では、地域振興として、観光産業や地域特産品の振興と、国際交流について視察研修しました。

津南町の家屋は、玄関が2階にあり、屋根にはソーラーパネルがない。これは気象条件に関係があり、冬には日本一の積雪量があり、ずいぶんと気候が違うと思った。観光対策としては、観光資源や積雪を利用し、苗場山麓ジオパークや雪まつりで、大地や自然と接して体感しながら学ぶ場所を作っている。また休耕田を利用し、ひまわり畑を作ったところ評判となり、畑は4haと拡大し、観光客も、年間7万人も訪れるようになったと説明があった。

小布施町では、地域振興として地域資源を活かしたブランド化、住民地域連携、農業＋食文化の取り組みをしている。人を巻きこむ戦略、また観光ではなく交流を目的に、花のオープンガーデンなどの事業を行い、ブランド農産物を作るのではなく、町自体をブランド化していく施策に取り組まれている。



小布施町での研修

総務厚生常任委員会

視察研修報告

1月18日 富山県舟橋村
舟橋村は「日本一小さな村」で、面積3・47km²と上峰町の4分の1ほどの面積である。

行政主導で宅地開発及びインフラ整備を進めたところ、富山市に隣接し地価が安いことで、子育て世代の人口が増加した。年少人口割合(21・8%)が全国で一番高く、コンパクトな町づくりにより活気ある村であった。

1月19日 長野県松川村
松川村は男性の長寿日本一(82・2歳)で、今後は男女ともに長寿日本一の村づくりを目指している。

長寿の要因として、保健補導員の存在が大きいとのことであった。保健補導員会は昭和37年に発足し、これまで延べ2千人以上の町民がその役割を担っている。生活習慣病予防や介護予防の活動のほ

か、健診申込書の配布及び受診呼びかけなどの活動を行っている。これにより、特定健診は高い受診率になっている。

また、松川村では3世代同居の割合が高く、高齢者が就業やボランティア等の社会参加を通じ明るく元気である。社会に必要とされているという認識が高く、生きがいのある活動をされているとのことであった。



松川村での研修



がんばれ! 上中 部活動紹介 3

吹奏楽部

顧問 吉村真希・中村浩子

部長 田中希和

副部長 富永真帆・真茅紗那

吹奏楽部のモットーは、「最響・最強」です。この言葉を常に思い続け、最高の演奏ができるように日々の練習に取り組んでいます。

私たちの目標は、吹奏楽コンクールで金賞を獲ることです。そのために一生懸命に練習を行っていますが、思ったように演奏できず、くじけそうになる時もあります。でもそんな時は、「We never give up」



を合言葉に、笑顔を絶やさず部員の心を一つにしてがんばっています。

私たちは、技能面の向上ばかりではなく、「あいさつ」や「ものを大切にすること」「周りの人への感謝の気持ち」も忘れずに活動しています。明るく素直な心をもつことが、美しい音作りを支え、私たちの目指す演奏につながるからです。

これからも一日一日を大切に、練習を重ね、最高の上中サウンドを作っていきます。応援をよろしくお願いいたします。3月にスプリングコンサートを行いますので、ぜひ、お越しください。



行事への参加

10月～12月

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 10月4日 上峰小学校体育大会 | 11月11日 青少年育成大会 |
| 10月5日 市町行政講演会 | 11月15日 消防団防火訓練 |
| 10月10日 目達原駐屯地創立記念行事 | 11月18日 郡内全議員研修会 |
| 10月11日 町民体育大会 | 11月22日 かみちゃりグランプリ |
| 10月24・25日 米多浮立 | 11月27日 同和問題市町講座 |
| 10月31日 上峰中学校文化発表会 | 11月29日 上峰幼稚園お遊戯会 |
| 11月3日 町民文化祭 | 12月19日 おたっしゃ館もちつき交流会 |



▲おたっしゃ館もちつき交流会

あどがき

初春を迎え、町民の皆様におかれましては、日々御清祥のことと、お喜びを申し上げます。平成27年度も、あつという間に過ぎ去ろうとしています。特記すべきものとしては、ふるさと納税見込額が21億円に達することだと思われまふ。これは、担当主管課職員の努力は勿論、町職員はじめ、町民総意による返礼品の開発による他ありません。これらふるさと納税者の好意に添えるよう、今後支出面において、町議会としても一丸となって町発展に寄与していきますので、町民皆様のご協力とご支援をよろしく申し上げます。(吉田)

議会だより

広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 寺崎 太彦 |
| 副委員長 | 田中 静雄 |
| 委員 | 原田 希 |
| 委員 | 吉田 正 |
| 委員 | 向井 正 |